

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成27年10月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15
一般社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士を国家資格にするために

吉田 博

医療法人八女発心会 姫野病院 名誉院長

現在、法制化されている医療・福祉関連職種は25職種である。これらの職種は直接的または間接的に患者に接触して、診察、治療、看護、助産、保健指導などを行い、患者の健康回復、増進に努める職種である。この中で国家資格は医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、救急救命士などの17職種であり、残りの8職種のなかでは、准看護師と栄養士が知事資格である。診療情報管理士は日本病院会および全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会の四病院団体協議会と医療研修推進財団の5団体が共同認定している。診療情報管理士は病院にとって重要な職種ではあるが、現在の学習内容や科目数の面でも、国家資格に格上げすることは難しい点がある。

私は21年前から地域の医師会立の看護専門学校(准看護師から看護師を目指す2年間の昼間コース)の微生物学を担当しているが、全体の科目数は69科目であり、診療情報管理士の科目数は21科目で看護師の科目数の約1/3である。診療情報管理士を国家資格にするためには科目数を増やして学習内容の充実をはかることが大切である。学習内容の充実のためには、臨床医学の科目の充実とならんで基礎医学(微生物学や生理学、生化学、解剖学、病理学など)の科目も取り入れる必要があるだろう。

診療情報管理士には診療情報開示やインフォームド・コンセントなどに対応する専門職としての意義がある。国家資格である国は韓国などの少数の国にとどまっているのが現状であるが、わが国でも、診療情報管理士の国家資格への格上げを検討する時期にきており、そのためにはカリキュラムの更なる充実や国へのはたらきかけが必要であると考えている。

